



# 柏崎市 第五次総合計画後期基本計画 の策定にあたって

---

# 目次

- I 計画策定の基本的な方針や手法等について
  
- II 市民アンケートの結果の概要について

# I 計画策定の 基本的な方針や 手法等について

# 1. 柏崎市の総合計画とは

## (1) 位置付け

- 「新潟県柏崎市市民参加のまちづくり基本条例」に基づき、広範な市民の参加を得ながら策定するものです。
- 「新潟県柏崎市総合計画条例」の規定に基づく本市の行政計画の最上位計画に位置付けられます。
- 本市の様々な計画や事業は、この総合計画にもとづき進められます。

## (2) 第五次総合計画の構造



### (3) 構成

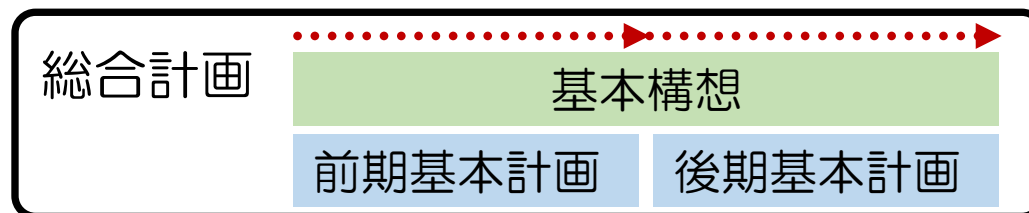
○基本構想と基本計画から構成されます。

- 基本構想…我が国を取り巻く時代背景や本市における課題、将来都市像と基本理念、今後の人口展望、土地利用構想及び分野別施策の基本方針を示すもの

＊計画期間は10年間

- 基本計画…基本構想に掲げた将来都市像の実現に向け、施策を体系的かつ具体的に示すもの

＊計画期間は5年間



## (4) 第五次総合計画のうち、基本構想の構成

章立て	主な項目
第1章 総合計画策定の趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 背景、位置付け</li><li>・ 計画の期間</li></ul>
第2章 時代背景と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 我が国を取り巻く時代背景</li><li>・ 本市における最重要課題</li></ul>
第3章 将来都市像	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基本理念</li><li>・ 将来人口、土地利用構想</li></ul>
第4章 分野別施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 3つの戦略的な視点</li><li>・ 6分野の基本方針</li></ul>

\* 40ページ程度

## (5) 第五次総合計画のうち、前期基本計画の構成

章立て	主な項目
第1編 総論	<ul style="list-style-type: none"><li>・趣旨、計画の期間</li><li>・財政計画</li></ul>
第2編 重点戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>・戦略1～4</li></ul>
第3編 分野別施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・6分野の基本方針</li></ul>

\* 170ページ程度（資料編を除く）



## 2.計画策定の基本的な方針

### (1) 策定にあたって背景となる視点

- ① 基本構想を踏まえます。
- ② 時代潮流を踏まえます。
- ③ 昨年度実施した、将来人口の推計結果を踏まえます。
- ④ 前期基本計画で残された課題を踏まえます。

## (2) 基本的な考え方その1：大枠

- ① 人口減少が想定以上に進んでいることから、今後の人口展望、土地利用構想など、必要な時点修正を行います。
- ② めまぐるしく変化する社会環境に対し、5年スパンの行政運営では、長期となり対応できない部分があるため、後期基本計画は4年とします。
- ③ 後期基本計画の構成は「総論」、「重点戦略」、6章からなる「分野別施策の基本方針」とし、前期と同様とする予定です。

## (3) 基本的な考え方その2：総論

- ① 「計画期間」は、令和4（2022）年度を初年度とし、令和7（2025）年度を目標年度とする4年間とします。
- ② 「施策の体系（主要施策の基本方向）」は、前期基本計画における運用及び関係各課の意向を踏まえ更新します。

## (4) 基本的な考え方その3：重点戦略

① 前期基本計画は、以下のとおりでした。

健康・元気・いきいき戦略

産業イノベーション戦略

地域の宝・育成戦略

魅力あるまち形成戦略

② 前期における達成度と、策定当時からの背景の変化を踏まえ、新たな戦略として立案します。

## (5) 基本的な考え方その4：分野別施策の基本方針

「主要施策の基本方向」では、持続可能な社会を目指すべきという観点から、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGsにおける17のゴール」を、指標項目として整理します。



# 3.計画策定の手法等

## (1) 検討対象項目と検討の流れ

- 「分野別施策の基本方針」と「重点戦略」について時間をかけて検討を行います。

分野別施策の基本方針

重点戦略

## (2) 検討対象項目の立案

### 1) 分野別施策の基本方針の立案

○前期基本計画における分野別施策の基本方針については、関係各課単位で次の点の検討を行います。

- ① 現況と課題
- ② 主要施策の基本方向
- ③ 該当するSDGsにおけるゴール
- ④ 関連する個別計画

## 2)重点戦略と基本構想の一部の変更立案

- 重点戦略と基本構想の一部については、企画政策課を中心に、関係各課の意向を踏まえて検討を行います。

## 3)今後の財政の見通しの立案

- 今後の財政の見通しについては、財務部を中心に、関係各課の意向を踏まえて検討をします。



### (3) 市民参加

- 立案にあたっては、市民等の多様な意見を踏まえます。

市民アンケート（実施済）

大学生ワークショップ

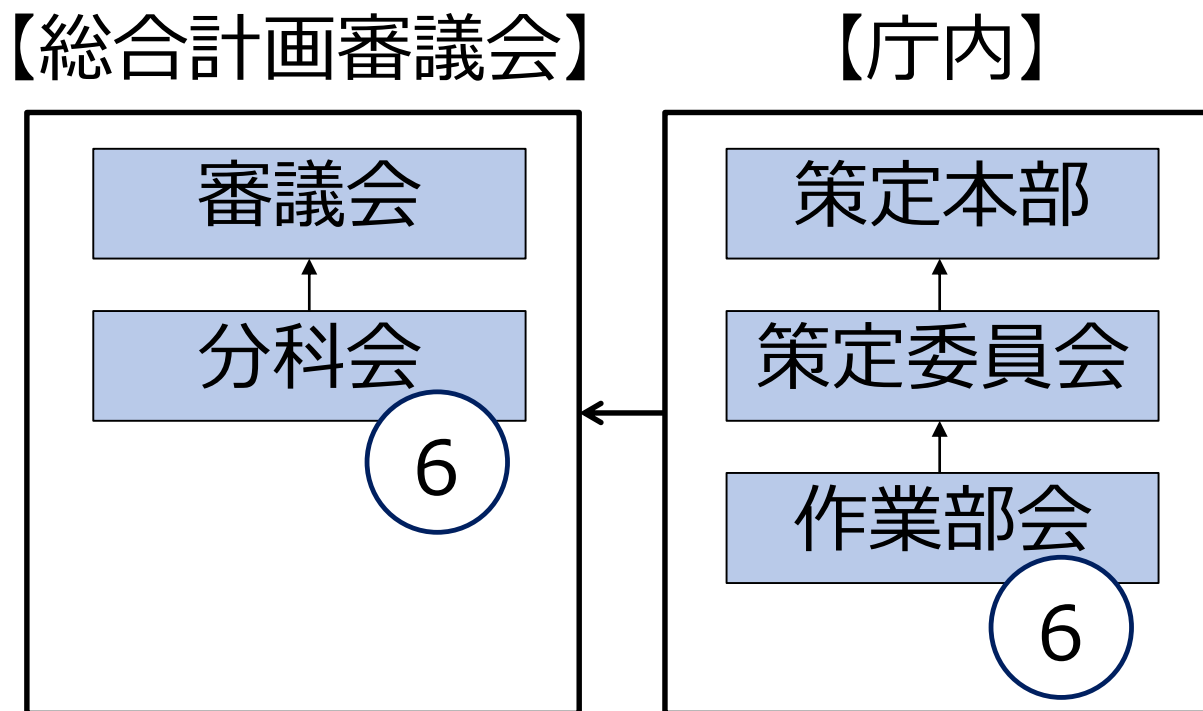
広聴広報

パブリックコメント

総合計画審議会・同分科会

## (4) 案についての検討・審議体制

- 案については、庁内で検討を行い、分科会、審議会の流れで審議していただきます。



---

# Ⅱ 市民アンケート の結果の概要 について

# 1.調査の概要

調査期間	令和2年7月21日～8月31日
調査対象	柏崎市に居住する 18歳以上の市民3,000名
調査方法	郵送による配布・回収
有効配布数	2,987票
回収数	1,350票
回収率	45.2%

## 2.調査の項目

---

- ① 回答していただくあなたご自身について
- ② 柏崎市の暮らしやすさと魅力について
- ③ 柏崎市の現状の満足度と今後の施策の重要度
- ④ これからのまちづくりについて
- ⑤ 行政やまちづくりなどへの市民参加について
- ⑥ 柏崎市の行財政運営について
- ⑦ 新型コロナウイルスの影響等について **(新規)**
- ⑧ エネルギー政策について **(新規)**
- ⑨ まちづくりに関する自由意見

# 3.調査の結果の概要

## (1) 回答者の属性

○年齢は、60歳以上が5割を占めます。

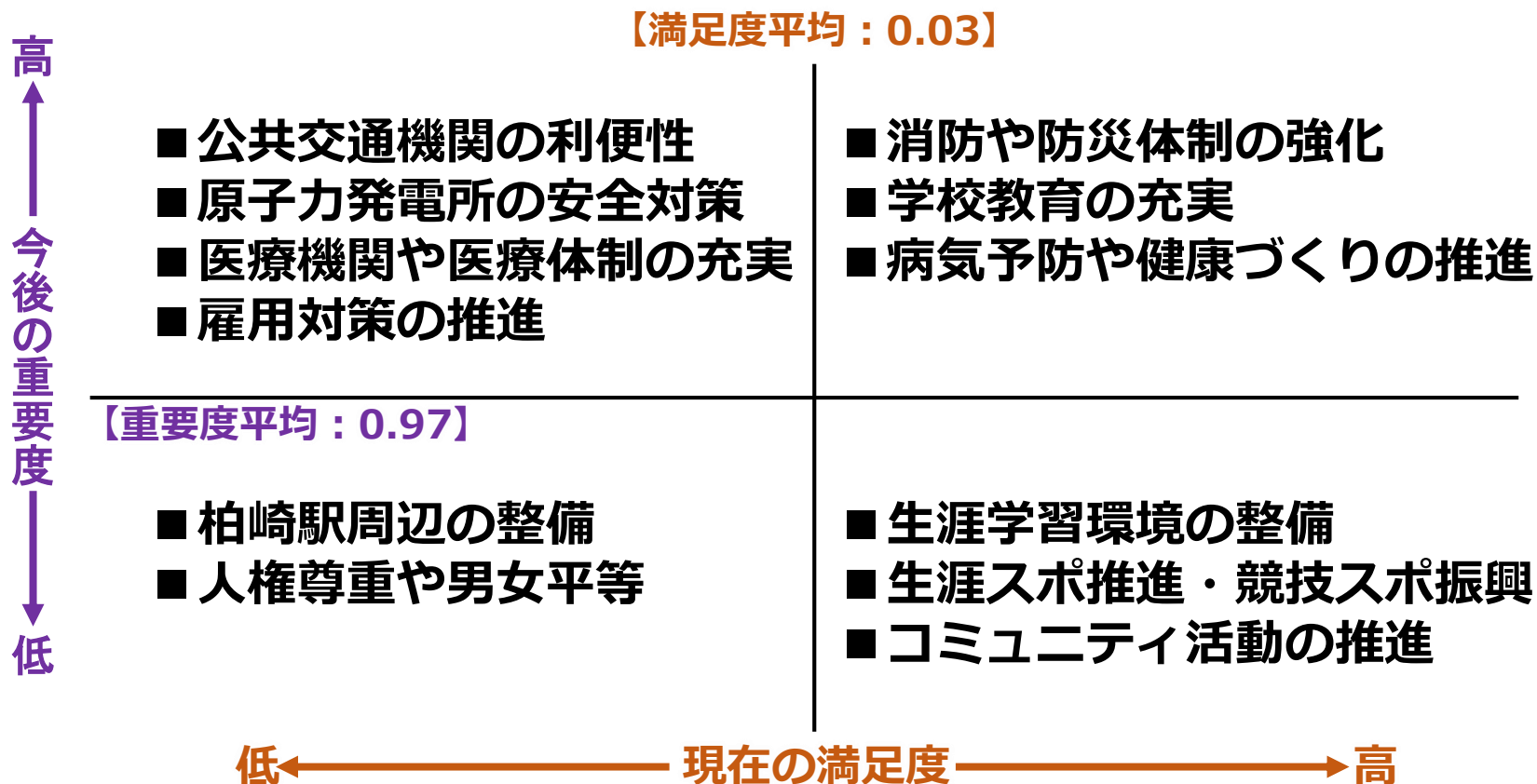
		実数	割合
1	20歳未満	3	0.2%
2	20歳代	76	5.6%
3	30歳代	143	10.6%
4	40歳代	196	14.5%
5	50歳代	227	16.8%
6	60歳代	334	24.7%
7	70歳以上	361	26.7%
	無回答	10	0.7%
	合計	1,350	100%

## (2) 柏崎市は暮らしやすいか

- 1と2を合算した“暮らしやすさ”は、過去2時点より高い状況にあります。

	R2年度	H26年度	H22年度
	(2020)	(2014)	(2010)
1 暮らしやすい	21.0%	14.8%	13.6%
2 どちらかといえば暮らしやすい	50.4%	47.7%	52.7%
3 どちらかといえば暮らしにくい	13.0%	15.7%	13.6%
4 暮らしにくい	4.4%	6.3%	4.1%
5 どちらとも言えない	10.1%	14.3%	14.8%
無回答	1.0%	1.1%	1.2%
合計	100%	100%	100%

### (3) 現状の満足度と今後の施策の重要度





## (4) 市が目指すべき将来の“まち”の姿

- 「医療」「生活環境」「産業」「防災」の順に高い状況にあります。

【上位10位まで表示】

		実数	割合
1	医療が充実したまち	910	67.4%
2	快適な生活環境の中で安心して暮らせるまち	708	52.4%
3	産業が盛んで、働く場に恵まれているまち	665	49.3%
4	地震災害や水害に強いまち	527	39.0%
5	子どもや若者が元気なまち	428	31.7%
6	道路・交通体系が整備されたまち	392	29.0%
7	安心して子育てができるまち	387	28.7%
8	高齢者や障がい者にやさしいまち	372	27.6%
9	人と人とのつながりを大切にするまち	260	19.3%
10	新型インフルエンザや輸入感染症に即応できるまち	238	17.6%

## (5) まちの活力を維持するため重要なことは

- 「子育て支援の充実」が最も高く、「医療・福祉の充実」が続きます。

【上位10位まで表示】

		実数	割合
1	子育て支援の充実	596	44.1%
2	多様な世代が共に暮らせるための医療、福祉の充実	547	40.5%
3	商店街活性化や街中居住環境向上など中心市街地活性化	381	28.2%
4	移住者の受入れに対する積極的な取組	360	26.7%
5	安心して暮らし続けるための防犯、防災対策の充実	276	20.4%
6	起業家や新産業参入に対する支援などによる雇用の創出	266	19.7%
7	新エネルギー産業などの新たな産業の創出	220	16.3%
8	まちを担う人材を育成するための特色ある教育の充実	216	16.0%
9	農林水産業や地場産業、既存産業の振興	215	15.9%
10	ワーク・ライフ・バランスの推進等による女性が働ける環境整備	158	11.7%

## (6) (5) について前回との比較

- 前回アンケートと比較し目立って増加しているのは、「移住者受入れ」と「中心市街地活性化」です。

【上位10位まで表示】

		R2年度 (2020)	H26年度 (2014)
1	子育て支援の充実	44.1%	50.2%
2	多様な世代が共に暮らせるための医療、福祉の充実	40.5%	44.1%
3	商店街活性化や街中居住環境向上など中心市街地活性化	28.2%	24.0%
4	移住者の受入れに対する積極的な取組	26.7%	19.8%
5	安心して暮らし続けるための防犯、防災対策の充実	20.4%	22.3%
6	起業家や新産業参入に対する支援などによる雇用の創出	19.7%	27.3%
7	新エネルギー産業などの新たな産業の創出	16.3%	
8	まちを担う人材を育成するための特色ある教育の充実	16.0%	15.5%
9	農林水産業や地場産業、既存産業の振興	15.9%	22.4%
10	ワーク・ライフ・バランスの推進等による女性が働ける環境整備	11.7%	17.0%

## (7) (5) について年齢とのクロス

- 10～50歳代は「子育て支援の充実」、60歳以上は「医療・福祉の充実」が1位です。

【上位3位まで表示】

	1位	2位	3位
10・20・ 30歳代	子育て	中心市街地	移住者
	75.7%	31.5%	29.7%
40・50 歳代	子育て	医療、福祉	中心市街地
	43.6%	42.5%	29.0%
60・70 歳以上	医療、福祉	子育て	中心市街地
	44.5%	34.6%	26.7%

## (8) 新型コロナウイルスの影響

- 「衛生の意識」が最も高く、「外食の減少」、「健康への意識」が続きます。

【回答割合10%以上を表示】

		実数	割合
1	衛生を意識するようになった	764	56.6%
2	外食が減った	664	49.2%
3	健康を意識するようになった	451	33.4%
4	ストレスを感じるようになった	388	28.7%
5	日常の買い物が減った	345	25.6%
6	家族で過ごす時間が多くなった	217	16.1%

## (9) コロナ対策は

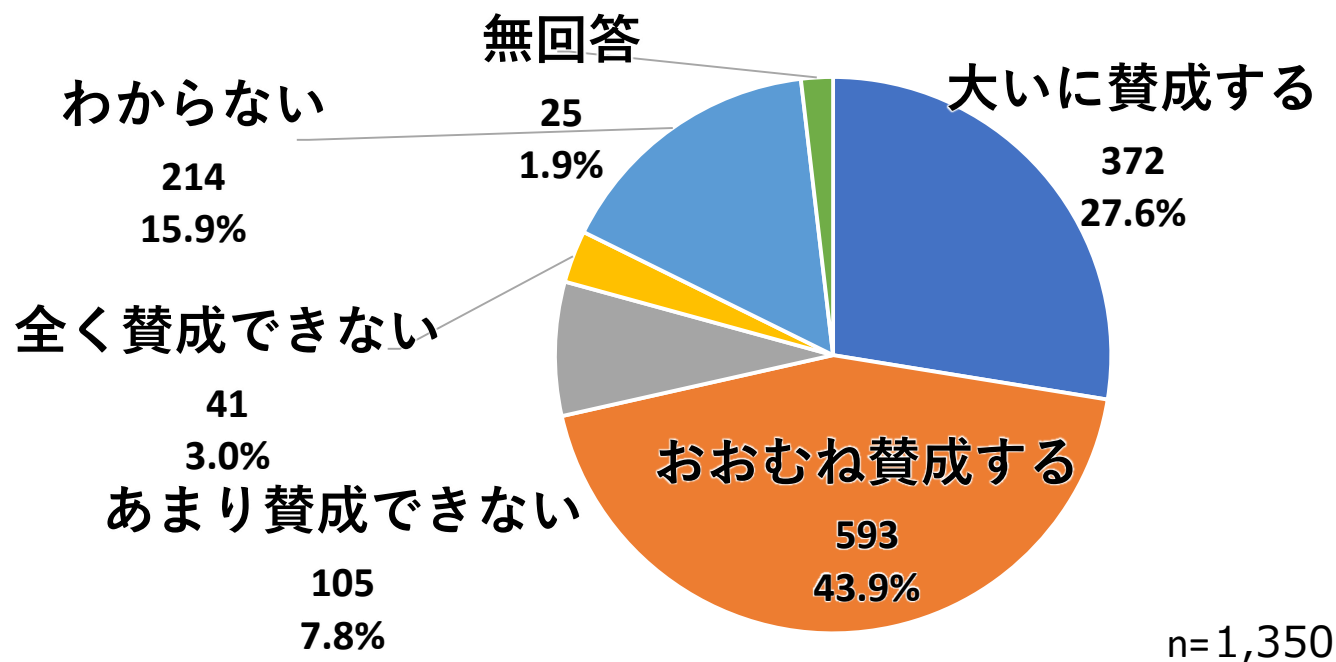
- 「地域医療の体制や設備の充実」最も高く、「感染症の予防対策」が続きます。

【回答割合10%以上を表示】

		実数	割合
1	地域医療の体制や設備の充実	857	63.5%
2	感染症の予防対策	690	51.1%
3	子どもの教育環境への対応	341	25.3%
4	雇用や就業・就労に対する支援	335	24.8%
5	災害時の避難所等の対応	284	21.0%
6	地域経済に対する支援	277	20.5%
7	生活困窮に対する支援	258	19.1%
8	福祉・介護分野における支援	201	14.9%

## (10) 柏崎市地域エネルギービジョンは

○ “賛成”の回答を合わせると71.5%となります。





柏崎市

Kashiwazaki City